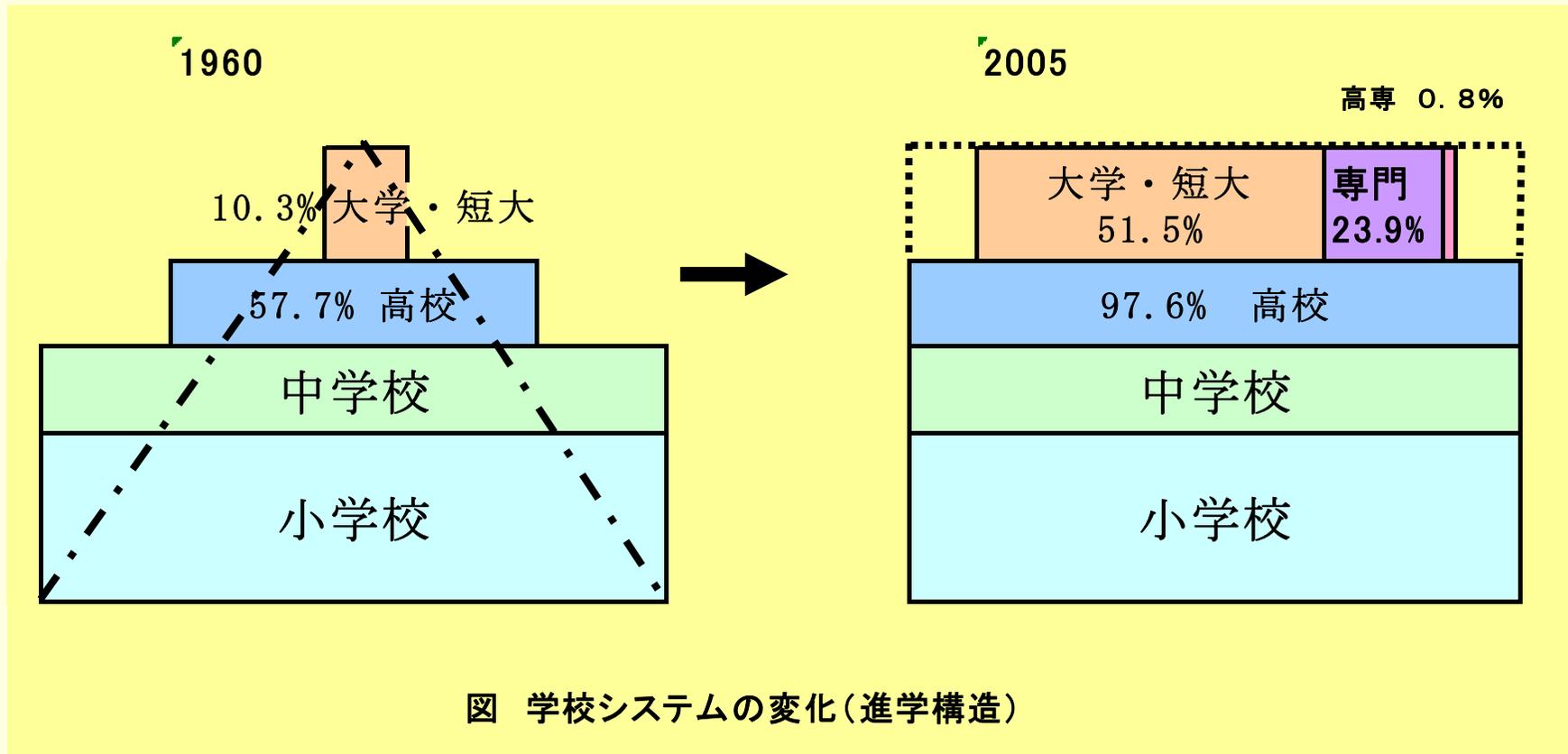


大学入学者選抜の改善

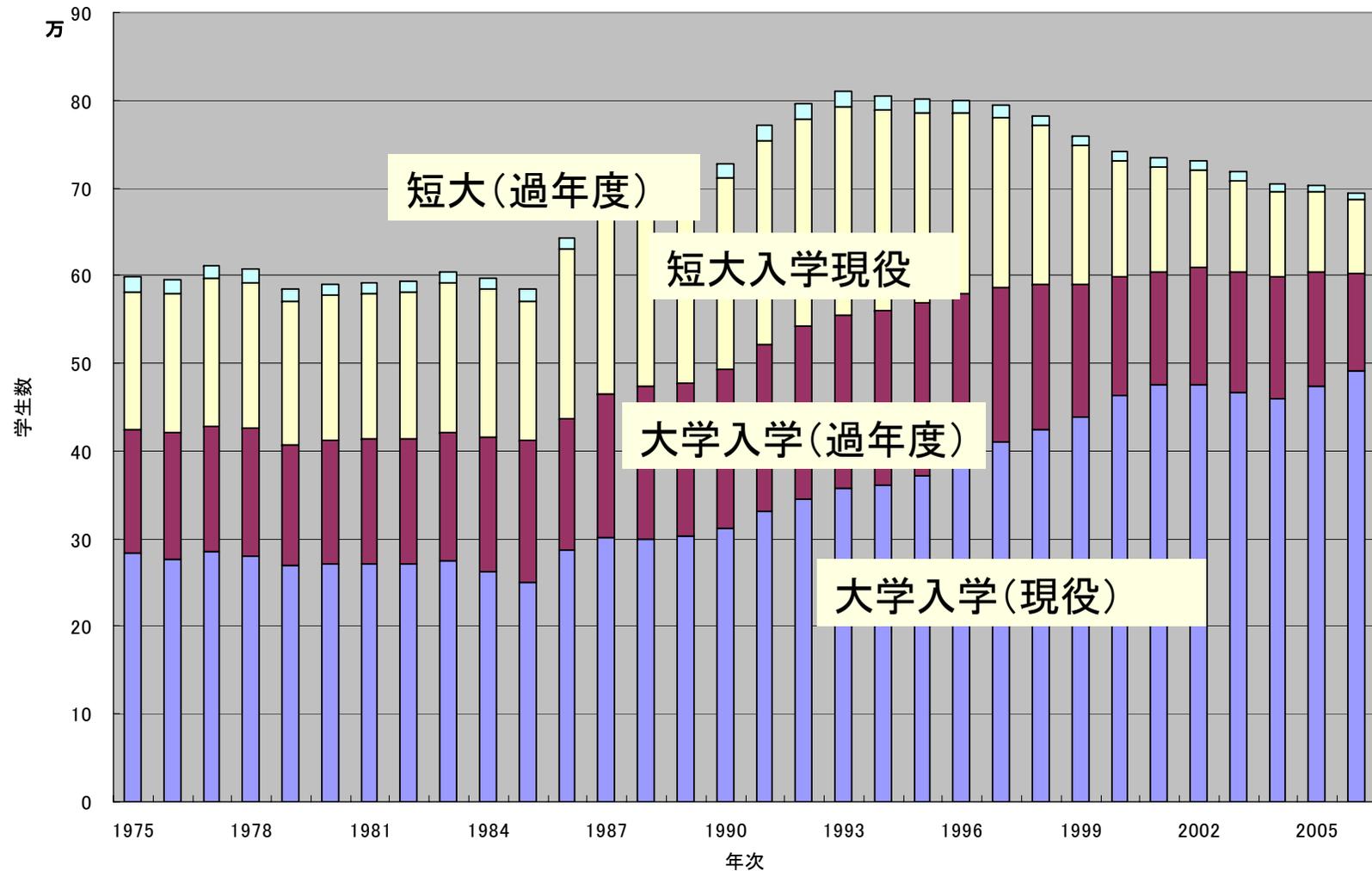
荒井克弘(東北大学)

- 学校システム・進学構造・教育課程
- 受験シフトによる高校教育の空洞化
- 学士課程カリキュラムの確立
- 入学基準(アドミッション・スタンダード)の明示

進学構造の変化



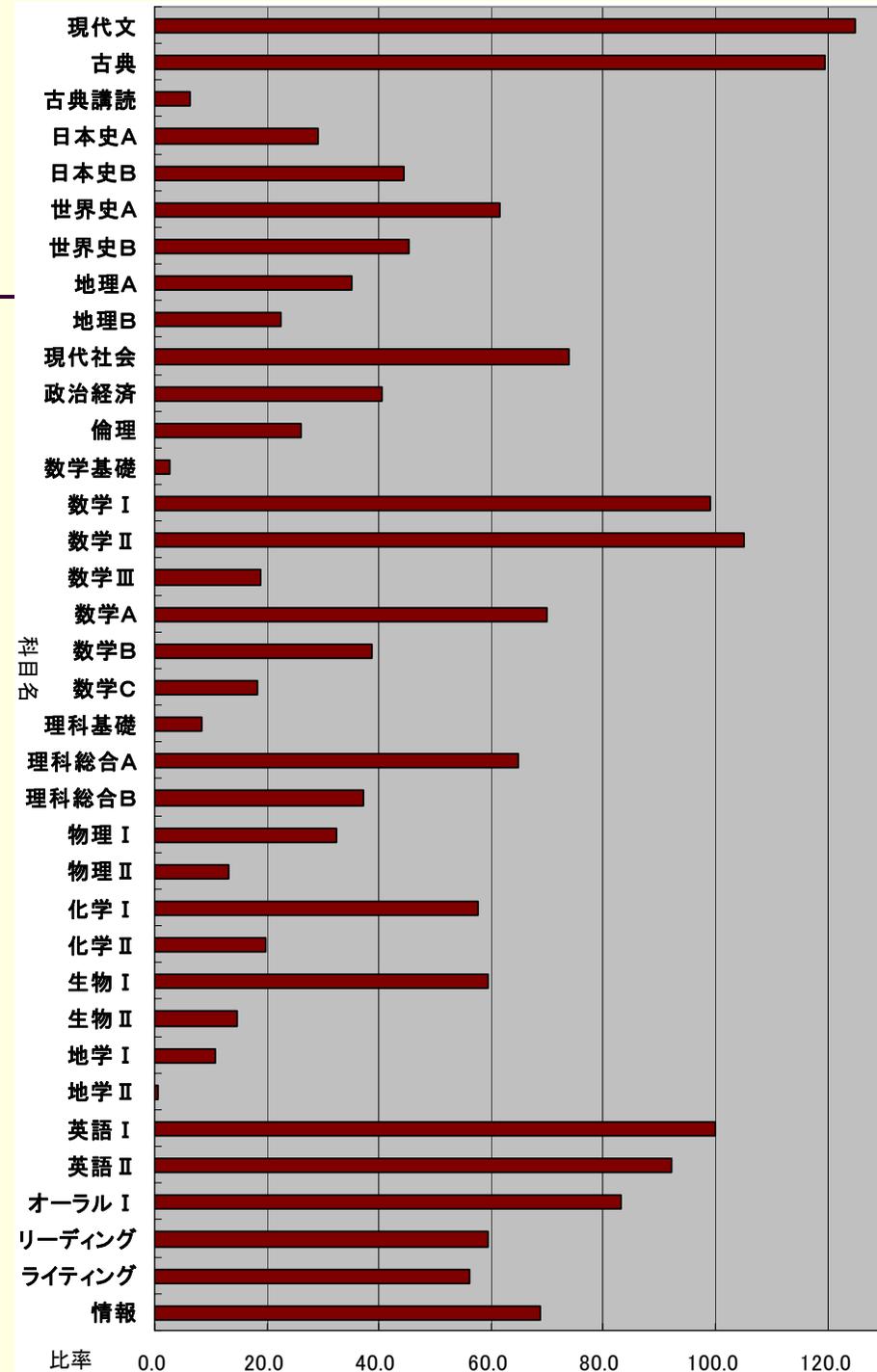
大学・短大入学者の構成(現・浪)



科目履修

(教科書購入数／生徒数)

- 必修科目は > 100%
- 物理Ⅱは12%程度
- 数学Ⅲは19%、
- 数学Cは18%

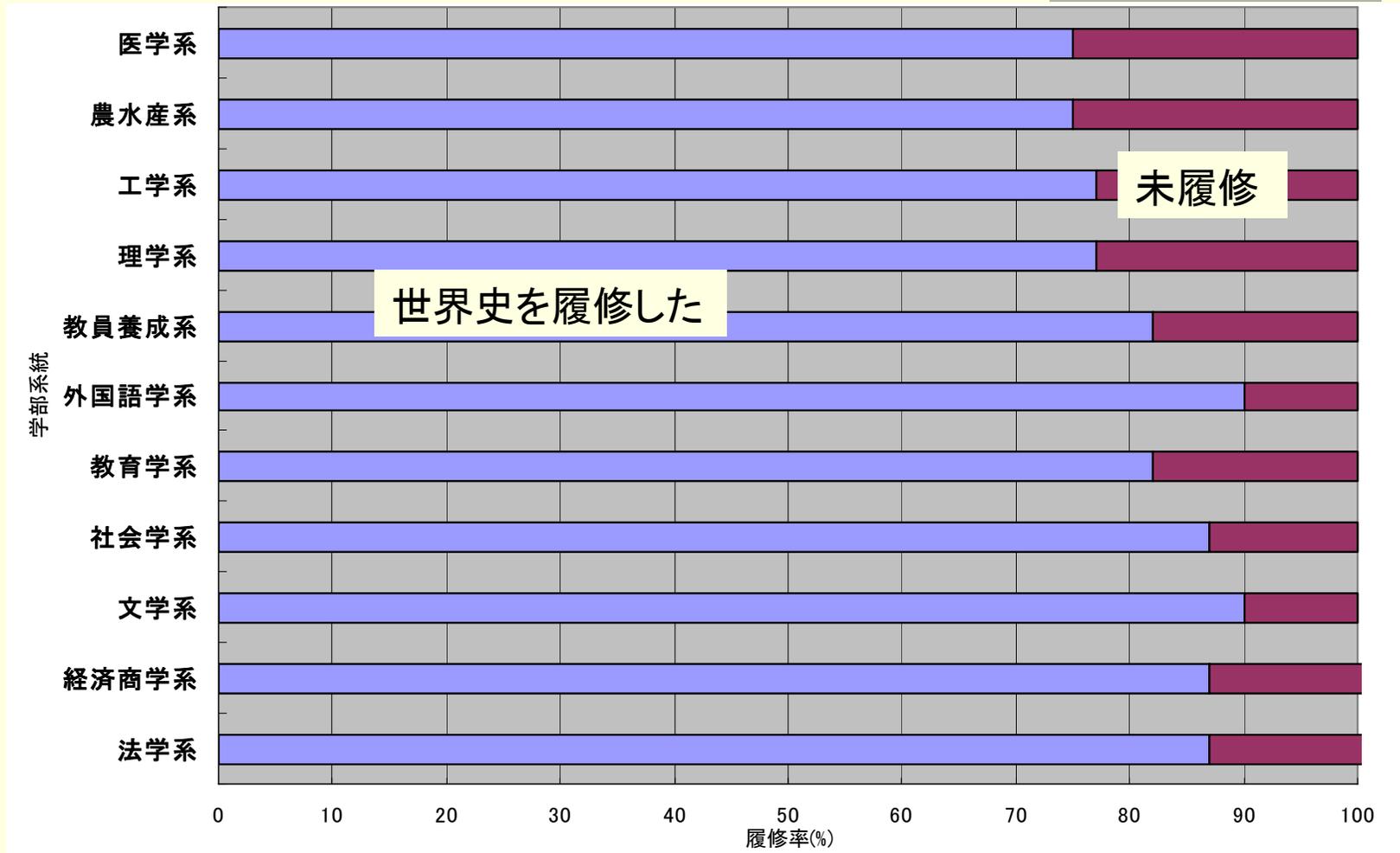


大学入学者の学力水準

- 大学志願者(H17) 70万人
- 大学合格率(H17) 86.3%(60万人)
- センター試験志願率(H17) 大学志願者の81%

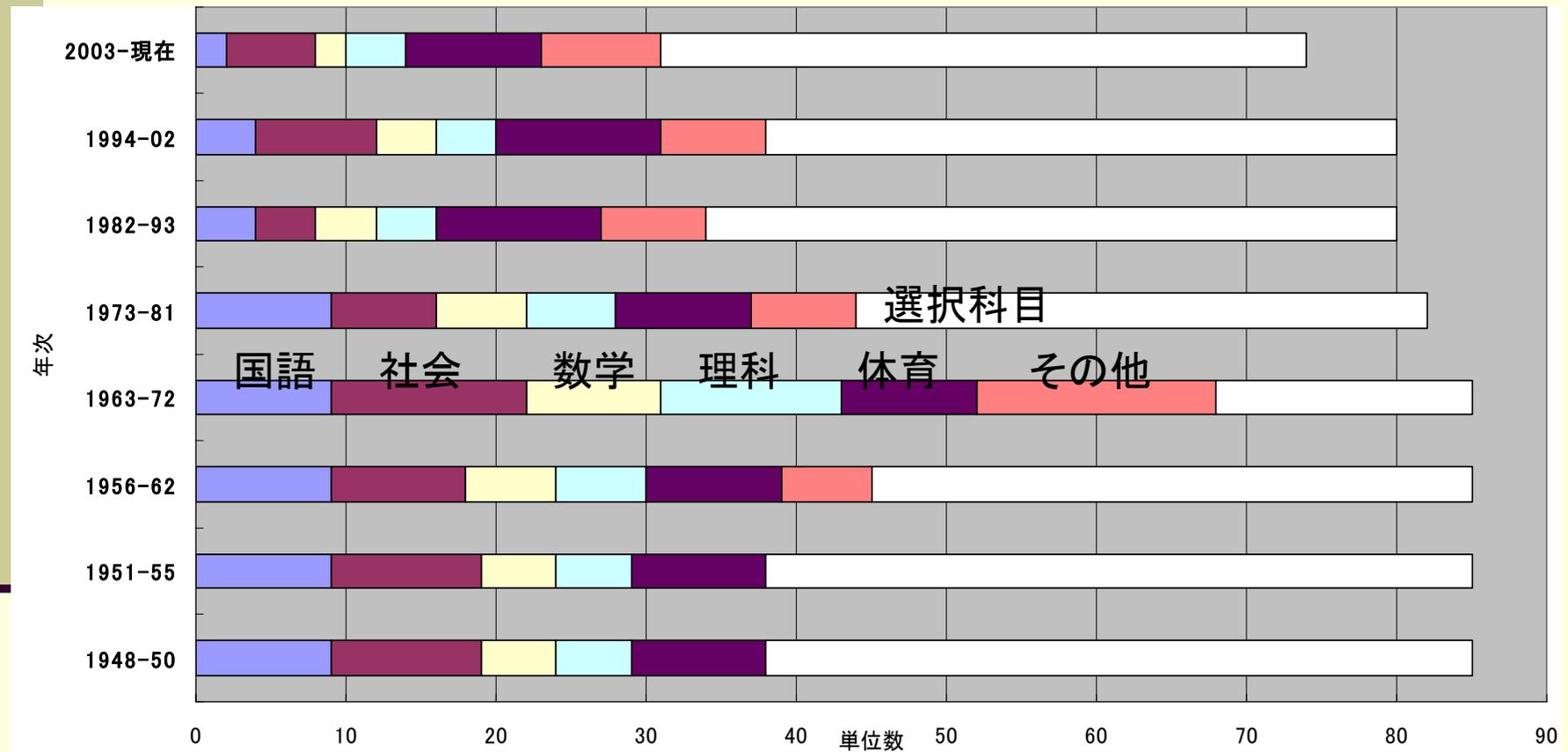
H18センター試験			
試験科目	受験者数	平均点	標準偏差
国語 I・II	45万人	59.8	32.6
日本史B	15	59.3	16.4
地理B	11	70.2	14.9
現代社会	20	70.2	12.4
数学 I・A	37	69.4	23.0
数学 II・B	33	52.5	18.9
物理 I B	14	60.0	20.6
化学 I B	21	66.1	22.3
生物 I B	18	51.6	15.2
英語	52	58.1	38.0

「世界史」の履修率 (柳井他2002)

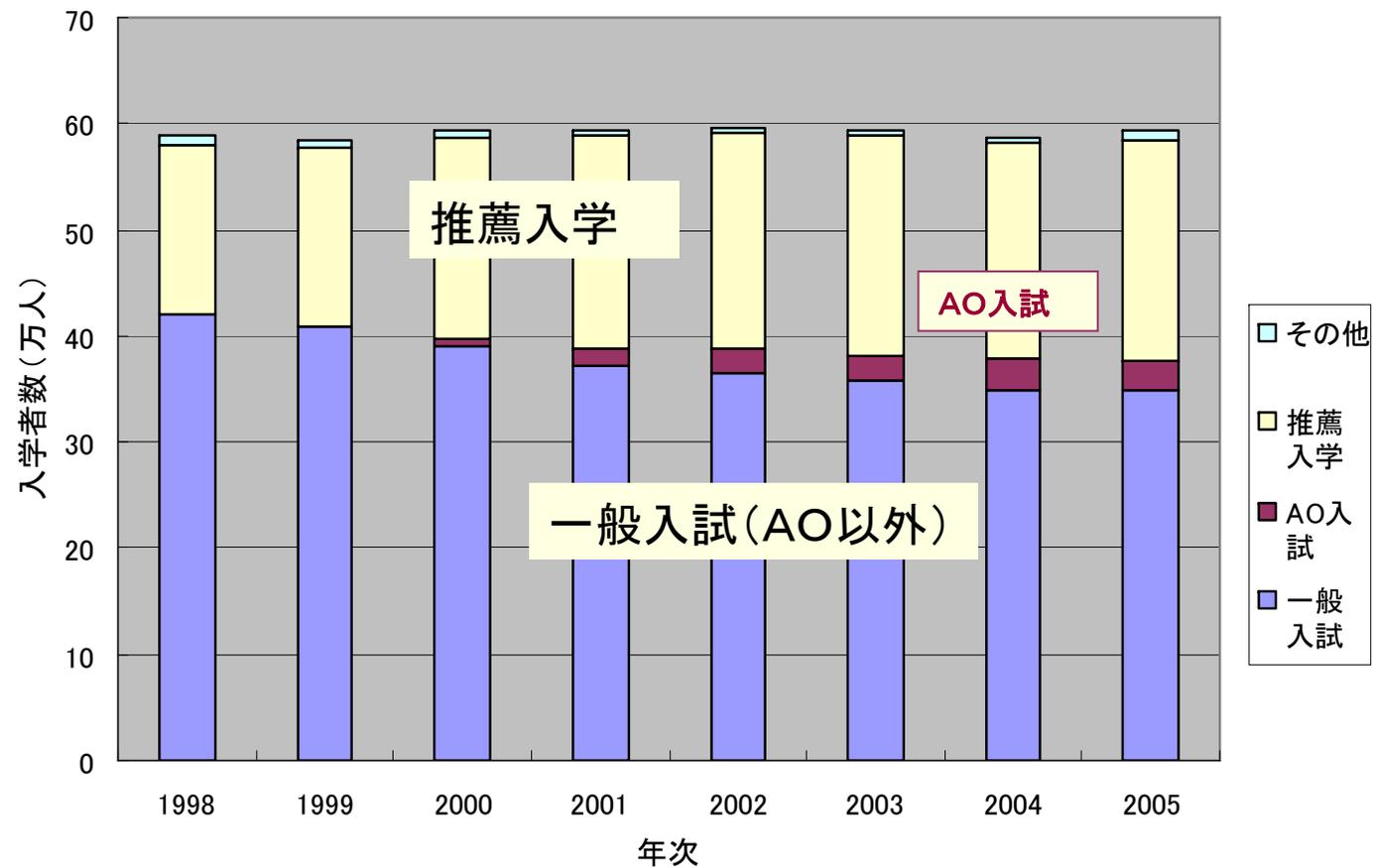


回答者 33,432名 (国立73、公立49、私立213大学)

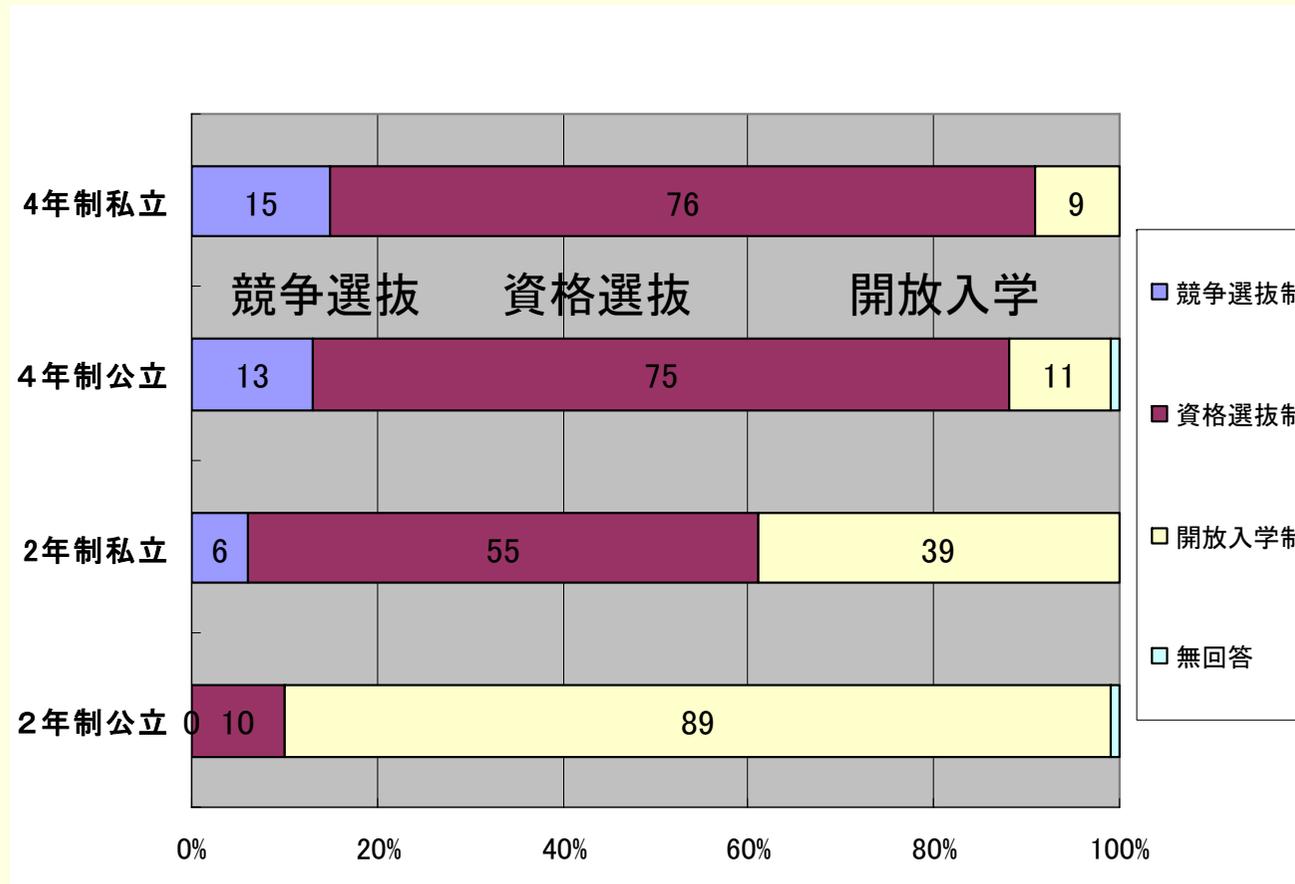
高等学校の教育課程（普通科）



わが国の大学入学者選抜



アメリカの大学は入り易いか？



College Board (2002)

入学者選抜と入学後の課題 (大学側)

- カリキュラムの水準、目標を明確にする。
- 学生確保(経営)と教学のバランス(棲み分け)
- 入学基準(アドミッション・スタンダード)の公表

進学準備教育の課題（高校側）

- 大学での学習に必要な基盤学力の養成
- 高校教育における過度な受験シフトの抑止
- 「多様な高校教育」の実質化と達成評価

提案

- 高校卒業試験(到達度評価; 出口試験)の実施
- 大学個別学力試験の共通化(難易度の異なる複数の科目試験の開発と利用)
- 学士課程教育の卒業試験の実施
- 入学者選抜単位の解消(大括り化、入学後の学部振り分け)
- (大学院入学者選抜の改善)